

国立能楽堂料金表

令和7年4月1日

能舞台

使用種別	区分	平日	土曜日	日曜日・祝日	申合せ
第 1 種	全日(8時間) 10:00~21:00	277,200円	323,400円	381,200円	1時間 17,300円
	半日(4時間) 10:00~18:00	184,800円	254,100円	323,400円 (5時間)	
	夜間(4時間) 15:00~21:00	219,500円	288,800円	358,100円 (5時間)	
	延長料金				
	30分まで	36,580円	48,130円	59,680円	
	60分まで	73,160円	96,260円	119,360円	
	90分まで	109,750円	144,400円	179,050円	
	120分まで	219,500円	288,800円	358,100円	
第 2 種 第 3 種	全日(8時間) 10:00~21:00	300,300円	358,100円	415,800円	1時間 23,100円
	半日(4時間) 10:00~18:00	207,900円	277,200円	358,100円 (5時間)	
	夜間(4時間) 15:00~21:00	242,600円	323,400円	392,700円 (5時間)	
	延長料金				
	30分まで	40,430円	53,900円	65,450円	
	60分まで	80,860円	107,800円	130,900円	
	90分まで	121,300円	161,700円	196,350円	
	120分まで	242,600円	323,400円	392,700円	
第 4 種	全日(8時間) 10:00~21:00	831,600円	970,200円	1,143,600円	1時間 51,900円
	半日(4時間) 10:00~18:00	554,400円	762,300円	970,200円 (5時間)	
	夜間(4時間) 15:00~21:00	658,500円	866,400円	1,074,300円 (5時間)	
	延長料金				
	30分まで	109,750円	144,400円	179,050円	
	60分まで	219,500円	288,800円	358,100円	
	90分まで	329,250円	433,200円	537,150円	
	120分まで	658,500円	866,400円	1,074,300円	

<ご利用にあたっての注意事項>

※平日・土曜日の半日・夜間の使用時間は4時間以内、日曜日・祝日の半日・夜間の使用時間は5時間以内です。

- 1.使用料には舞台等の施設設備の使用に必要な業務に協力する職員が含まれます。
(但し、当能楽堂が提供できる限度内とします。)
- 2.能舞台の第1種使用で、同一使用者が一度に3日以上申し込みをする場合は、割引が
ございます。(3日割引、4日割引、5日以上割引)
- 3.能楽堂の使用できる時間は10時~21時です。21時以降の使用時間の延長はご遠慮願
います。
- 4.使用時間を超過した場合は、超過料金が必要です。
- 5.当能楽堂以外での公演の申合せ及び稽古も承ります。
- 6.稽古室は能楽以外の伝統芸能にもご利用いただけます。(但し土日祝日のみ)

※楽屋の使用時間について

- 1.楽屋入りは開演2時間前、但し、10時開演の場合は9時とします。
- 2.申合せ、稽古の場合の楽屋入りは開始1時間前とします。
- 3.楽屋の退室は終演後40分以内とさせていただきます。

※使用目的による取扱いの区分について

国立能楽堂では、申込者の使用目的に応じて次の4種類に区別し、それぞれ取扱い及び使用料を規定しています。

種別	条 件
第1種	公益社団法人能楽協会の会員又は会員に準ずる者として認められる方の出演による能楽公演。（プロフェッショナルによる能楽公演）
第2種	上記の方以外が主に出演する能楽公演。 （素人会・発表会等）
第3種	上記能楽以外の伝統芸能による公演。 または、能楽と他ジャンルとのコラボレーションによるもの。
第4種	上記以外の公演及び催し。 ※使用ご希望の方は、劇場利用係までお問合せください。

※使用のお申込みについて

使用のお申し込みは、4月から翌年3月迄の1年分につき、その前々年度の1月に受付いたします。また、この期間以後のお申し込みは、公演については使用日の3ヶ月前、申合せ及び稽古でのご利用、大講義室・稽古室・会議室使用等については使用日の1ヶ月前までにお申し込みください。

備品使用料金表

備品名	単位	使用料
櫓棹・釣竿・杖・鞭・弓矢・幣・挟竹・田子用荷竹・エブリ・箒竹・見台・高見台	各 1 点	350円
萩箒・サラエ・拄杖・持枝・錦木・金剛杖・山用花(榊・柳・桜等造花)・注連竹・籬・棒・錫杖・鹿背杖・笈・琵琶・籠・手籠・桶・負柴・柴垣・絵馬・瓢箪・椅子・海松藻(狂言)・銅拍子・金札・鉄札	各 1 点	580円
汐汲車・土車・輿・枕・鉄床・文台・幣台・燈明台・鉢木台・鳥居・砧・篝火・舍利塔・立木台・一畳台・祓・小サ刀・燭台(骨組)・山・塚・舟・小宮(狂言)・俵・荷茶屋・真奪用造花・講座	各 1 点	1,130円
俊寛纜・鉾・長刀・刀・井戸	各 1 点	1,710円
立木台用立木・一畳台用立木・「山、塚、小宮」用引廻し・祈祷台・門(片折戸)・モタイ(布付き)(骨組)・大宮・引立テ大宮・石・機台・半蔀戸(狂言)・児流鎗馬・三本柱	各 1 点	2,270円
大屋形・大宮用引廻し・藁屋	各 1 点	2,840円
板屋・萩屋・大藁屋・籠小屋・台掛・石用緞子・重荷・壺・杵枷輪(狂言)・茶筌(茶筌指し付き)、葛桶蓋(金蒔絵付き)	各 1 点	3,410円
物見車・羯鼓台・鏡台・糸車(五色)・椅子車・国栖舟・唐船・酒舟・絵馬宮・檜垣	各 1 点	5,660円
鐘楼(鐘付)	1 点	9,070円
金屏風	1 双	4,770円
翁飾	1 式	1,710円
(内訳) 菰・八足台・三宝・土器・皿・徳利・火打石 ※酒・米・塩・昆布等の供物はお持込みください。		
輪蔵	1 式	22,660円
道成寺	1 式	50,960円
(内訳) 道成寺用綱	(1 点)	(16,990円)
道成寺用鐘(骨組)	(1 点)	(22,660円)
道成寺用包衣	(1 点)	(11,310円)
葛桶(金蒔絵付き)	1 点	11,310円

1. 生木・生花は主催者様側でご注文ください(山本フラワー) TEL03-3202-0011
2. 塚・山等は骨組のみとし、榊等を含みません。
3. 道成寺の作り物を申合せ・稽古等で使用する場合は、本番の5割です。
4. 表に記載のない作り物もございます。ご使用希望の際はお問合せください。

その他料金表

	単位	使用料 (1種該当者)	使用料 (その他の者)
稽古室使用料	1 時間	1,610円	8,050円
大講義室使用料	1 時間	5,770円	28,850円
第2会議室	1 時間	840円	4,200円
ビデオプロジェクター 使用料 (大講義室)	30分以内	1,710円	同左
	10分増すごとに	570円	同左
入場券作成受託料	1枚	10円	同左
チケットケース	1枚	チケット2枚につき 1枚までは無料 それ以上は1枚/10円	同左
電源・場所等使用料	電源を使用する 場合	3,410円	同左
	電源を使用しない 場合	2,270円	同左
字幕台本貸出料	1 演目	16,500円	同左
座席字幕表示装置使用料	4時間以内	22,000円	同左
	30分増すごとに	2,750円	同左
座席字幕表示装置オペレー ト料金※ 【業務区分】 コンテンツ設定 字幕データシステム入力・設定 等 申合せ送出 申合せでの字幕データ送出、 修正業務等 本番送出 本番の字幕データ送出業務等	国立能楽堂所有の台本 を利用し、指定の業者が オペレートする場合	申合・本番送出 165,000円 本番のみ送出 90,200円	同左
	主催者持込の台本を使用し、国立能楽堂指定の 業者がオペレートする 場合	コンテンツ設定、 申合せ・本番送出 264,000円 コンテンツ設定、 本番のみ送出 189,200円	同左
	例外的に主催者持込の 機材(PC等)を座席字幕 表示装置に接続し、主催 者がオペレートする場 合	申合せ・本番とも 立会い 71,500円	同左

※ 座席字幕表示装置は、原則国立能楽堂指定の業者がオペレートします。
例外的に主催者持込の機材（PC等）を座席字幕表示装置に接続し、主催者がオペレートする場合は、申合せ・本番とも、指定業者の立ち合いが必要です。